



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.376 2022.10.4

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

連合山梨 第34回年次大会議案

連合山梨は、10月25日(火)第34回年次大会を開催し、運動方針補強案を提起します。
大会での論議のため、運動方針補強案を掲載させていただきますので、各構成組織組合員の皆様の論議をお願いします。
なお、紙面の都合から第33回定期大会からの補強項目を抜粋して掲載させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

第1号議案 2022～2023年度 運動方針補強(案) ※ _____ が補強部分

●運動方針その1

組織の総合力の発揮

【労働組合運動の活性化に向けて】 (1) (4) (5) (6) (略)

(2) 企業業績は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症およびロシアによるウクライナ侵攻の影響、さらにエネルギー価格の高騰により収益に格差が発生している。今後、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、各種政策の効果に期待したい。また、労働者については(総務省統計局2022年6月)雇用者6,048万人の内、正規の職員・従業員は、同年同月に比べ5万人減少し3,602万人。パート・有期契約労働者や派遣労働者は18万人増加の2,105万人となり、5か月連続で不安定とされる雇用が拡大していると読み取れる。

(3) 労働組合の組織率は16.9%(R3年労働組合基礎調査)と前年より0.2%の減少となり、組合員数は前年比約3万8千人(0.4%)の減少となった。労働組合数は前年より369組合(1.6%)減少している。また全労働組合員数に占める連合の組合員は68.2%(1.2%減)であった。

【組織拡大の取り組み】 (3) (4) (6) (7) (8) (9) (略)

(1) 連合本部が掲げる「連合組織拡大プラン2030」の目標数値である2030年800万人の組織拡大目標に基づき、組織拡大を最重要課題と位置づけ、すべての活動を組織拡大につなげていく。

(2) 連合山梨として年間500人の組織拡大を目標に、構成組織との連携を密に取り組む。

(5) 新型コロナウイルス感染症のまん延以降、多くの企業が面会を制限している。“コロナ禍における組織拡大活動の推進、”に向け、構成組織と連携し、関連企業や取引先との関係性構築に取り組む。

【財政基盤の確立】

連合山梨は「外部監査(公認会計士)の導入、内部監査チェックシートの活用、自主管理・自主点検作業の実施」等を的確に実施している。また、組合員数の減少傾向が続いているが、運動の継続と発展には財政基盤の確立は必要不可欠であることから、組織拡大の取り組みを強化・推進するとともに、連合山梨が設定した組合員の90%以上の会費納入登録人員の維持に向けた対応をしていく。また予算執行にあたっては、複数業者からの合

い見積もりやインターネットで平均相場の前チェック、そして費用対効果を検証するなど効率的・効果的運用をより一層強化する。一方で、連合運動強化特別委員会で検討されている会費納入のあり方(本部会費一本化)の素案提示状況により、財政・組織運営などへの影響について対応していく。

【機構と活動】 (1) (2) (3) (略)

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響による連合山梨としての取り組みについては、時々の状況把握をする中で、機関会議や課題別委員会で活動の見直しをする。また、活動の内容、運用が変化(会場参集・WEB開催等)しているが、運営の工夫、ITの活用などにより、活動の評価・課題の整理をしたうえで、リアルとオンラインの効率的・効果的な運用を引き続き検討する。

【地域組織の活性化】【女性活動】【青年活動】
【産業別部門連絡会】【事業団体との連携】
【関係友好団体との連携】【山梨退職者団体連合との連携】(略)

●運動方針その2

心ゆたかで公正な社会づくり

～将来に渡る安心社会の実現～

【2023春季生活闘争の推進】 (2) (3) (4) (5) (略)

(1) 関東財務局による県内経済情勢によると、「緩やかに持ち直している」とされている。また、雇用情勢は改善の動きがみられ、有効求人倍率は全国平均を上回っており、新型コロナウイルス前の水準以上となっている。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響・ロシアによるウクライナ侵攻の影響・エネルギー価格上昇等、その影響は、特定の産業に重くのしかかっているほか、セーフティネットが脆弱な層への深刻さが増している。

【公務員制度改革への対応】 (1) (3) (4) (略)

(2) 人事院は、2月18日に、定年の段階的な引き上げに伴う人事院規則を制定した。これを踏まえ、地方公務員については、3月18日に総務省より条例例が発出された。今後は各地方公共団体において、定年引上げの施行に向けた環境整備が必要

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目3-16 センティアホテル内藤敷敷地内 2F
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189 (仮事務所)

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 田中 好 久

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



となる。今後も様々な課題がある中で、関係組織と共に取り組む。

【なんでも労働相談ダイヤル・法律相談窓口】 (2) (3) (略)

(1) 連合東京内に設置された労働相談センター東日本と連携し、面談を希望する相談者、労働組合結成に向けた相談など、組織化に繋がる案件を中心に対応していく。対応にあたっては、フェアワーク推進センターと連携し、組織化に繋げていく。

【男女平等参画・ジェンダー平等の推進】 (3) (略)

(1) 2022年1月に策定した「連合山梨ジェンダー平等推進計画フェーズ1」に基づき運動を展開する。

(2) スローガンである「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」を目指し、組織対話や組織実態調査を通じた各組織の取り組み状況の把握、および研修会などを通じた意識改革に取り組む。

【教育問題への対応】 (1) (2) (3) (4) (8) (略)

(5) 2020年4月1日に施行された改正給特法第7条関連(上限規制)の条例・規則・上限方針ならびに36協定の遵守に向け、全ての職場で客観的な勤務時間管理を行い、持ち帰り業務の実態把握と、時間外勤務の縮減を実現するための実効性ある業務削減や人員増を求めていく。また、改正給特法(※6)第5条関連(1年単位の変形労働時間制)についても拙速な条例改正はさせない。1年単位の変形労働時間制導入は勤務条件に関することであるため、導入の前提条件と照らし合わせ労使間の丁寧な協議をふまえるよう求めていく。

※6:給特法とは、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の略称で、教員の勤務態様の特殊性をふまえて、公立学校の教員について、時間外勤務手当や休日勤務手当を支給しない代わりに、給料月額約の4パーセントに相当する教職調整額を支給することを定めた法律。(1971年制定)

(6) 再任用制度について、学校現場の実態を十分にふまえ、専門職も含める中で短時間勤務の職種採用枠を拡大する等、多様な働き方を保障する制度を構築するよう求めていく。また、高齢雇用制度について、定年年齢の引き上げにともない、役職定年のあり方など、教育現場の実態に合った、全ての世代の教職員がモチベーション高く子どもたちの成長に向き合うことができる制度になるよう、協議を行っていく。

(7) 2022年7月より「教員免許更新制」が廃止となったことにともない、新たな研修制度が導入される。教職員はすでに多くの研修を受講しているため、さらなる負担増とならないよう、関係機関にはたらきかけていく。

【運輸業界が抱える課題への対応】 (2) (略)

(1) 運輸業界におけるドライバーの長時間労働の課題は依然として大きな社会問題となっている。特に、トラック業務の労働時間は全産業と比較しても2割も長く、過労死認定が各産業の中で最も多いこと、また年収は4分の3に留まるといった厳しい環境下となっている。

① 賃金の改善には適正な運賃収受が欠かせない中、国土交通省はトラックドライバーの賃金・労働条件改善に必要とされる運賃として、令和2年4月に「標準的な運賃」を定めた。しかし、実際の運賃は個々の運送契約に基づくものとなる。そのため、荷主となる企業や、その先にある社会全体の理解が必要であるため、その必要性を発信していくとともに関係各所に働きかけていく。また、通販等で見かける送料無料の表記は、運送料の重要性を希薄にさせかねない懸念がある為、合わせて是正を求めよう発信していく。

② 働き方改革関連法の成立により、時間外労働の上限規制は設けられたものの、運輸産業は適用除外となっており一般則適用とはなっていない。現在、自動車運転手について、改正法施行から5年となる令和6年に向け、新たな改善基準告示の制定のため厚生労働省の各委員会等で議論がされている。

トラック運転手の拘束時間の削減に向けて運転時間の削減

は大変困難であることから、運転以外の時間である荷待ち時間や付帯作業などの削減が重要である。そのため長時間労働の改善にあたっては、発着の両荷主との連携が必要不可欠であり、荷主への周知と理解が課題となっている。したがって関係機関等と連携し着実な前進に向け取り組みを行っていく。

【人口減少・超少子高齢化問題への対応】

総務省統計局の発表によると2022年7月現在の日本の人口は1億2484万人となっており、前年同月から85万人減少した。2008年をピークに13年連続の減少となっており、そのまま推移すれば日本の人口は、2050年には1億人を割り込み、さらに減少が続くと2060年には8700万人弱との推計もある。

また、65歳以上の割合は29.0%で、2050年には約40% (現状比1.5倍)に増加し、75歳以上(後期高齢者)は25.0%と現状の2倍以上になると推計される。

山梨県の人口は、過去10年で6%以上減少しており、2040年の人口は約64.2万人にまで減少すると厳しい見通しも示されている。まさに、人口減少・流出問題は、山梨県にとって深刻な問題である。

連合山梨は、人口減少・超少子高齢社会への対応は重大なテーマと位置付け、2019年度より開始されている「移住支援制度」について山梨での活動に参画していくとともに、上部団体や関連諸団体とも連携した活動を推進していく。

【ワークルール検定】

「長時間労働」や「過労死」、「パワハラ」といった職場の問題はなかなか解消されず、連合に寄せられる労働相談も増え続けている。これらの問題は、ワークルールの知識があれば未然に防止できることもある。「ワークルール検定」は、働くうえで知っておきたい労働法について、正確な知識を獲得するための検定制度である。

連合山梨としても県内へ幅広く周知を行っている中で初級検定の合格者も増えていることから、山梨での中級検定開催に向けた検討を進める。

【ワーク・ライフ・バランスの実現】【地方行政への対応】

【中小企業職場の支援】【最低賃金制度の取り組み】

【フェアワーク推進センターの活動】

【審議会・懇話会などの対応】【産別課題への取り組み】

【労働審判制度】 (略)

●運動方針その3

政治への信頼と参加を高めよう

～政策実現に向けた政治活動の推進～

【選挙活動への参画】

日本の投票率は世界的に見ても残念ながら大変低く直近の国政選挙ではいずれも50%前後で停滞している。投票率向上に向けた更なる方策を生み出していかなければならない。

「働くことを軸とする安心社会 ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向け、目的と政策を共有する政党および政治家との協力関係を重視し、積極的に政治活動を推進する。

*直近の国勢選挙

・第24回参議院議員通常選挙(2016年7月)
「投票率54.70%(山梨58.83%)」

*選挙権が18歳に引き下げられた直後

・第48回衆議院議員総選挙(2017年10月)
「投票率53.68%(山梨60.71%)」

・第25回参議院議員通常選挙(2019年7月)
「投票率48.80%(山梨51.56%)」

・第49回衆議院議員総選挙(2021年10月)
「投票率55.93%(山梨60.61%)」

・第26回参議院議員通常選挙(2022年7月)
「投票率52.05%(山梨56.23%)」

【山梨県知事選挙】

連合山梨は、開かれた県政運営、将来を見据えた県政課題への対応姿勢も勘案しつつ、次期知事選に向けた対応を関係政党および団体と協議していく。

【甲府市長選挙】

甲府市長選挙は、これまでの連合山梨との関わり、当該の構成組織、地域協議会等とも連携を図り対応していくこととする。

【統一地方選挙】

現行の推薦議員・支持議員の活動点検も実施する中で地域における働く者・生活者の立場に立った政策制度実現のための政治勢力拡大に向けた働きかけを行う。また、新たな組織内議員の発掘を含め、引き続き、連合山梨と議員懇話会構成員との連携を密にし、相互協力のうえ取り組むこととする。

【政治センターの機能発揮】 (2) (3) (4) (略)

(1) 組合員一人ひとりが政治の重要性を認識し、政治課題への意識啓発と問題意識の共有を図るため、連合山梨支援議員や立憲民主党山梨県連・国民民主党山梨県連等の関係団体と連携した取り組みを進める。

【政治活動の意義】【その他の選挙】【地方議員との連携】【県内政党との関係】 (略)

●運動方針その4**国際連帯と平和・環境など国民運動の推進
～願う平和から叶える平和へ～**

【国際連帯活動の推進】 (1) (3) (略)

(2) 四川省総工会との友好交流については、新型コロナウイルス感染症状況を見極めながら2023年の再開を目指し協議を進める。

【平和運動の推進】 (1) (略)

(2) 連合山梨として開催の、平和行動inやまなしならびに、山梨独自の平和行動を継続実施するとともに、北方領土返還県民会議の運動やその他の地域活動についても対応していく。

【環境問題への対応】【国民運動・県民運動の推進】 (略)

●運動方針その5**安全・ゆとり創造・文化活動・福祉活動の推進
～支え合う社会の推進～**

【安全・安心の取り組み】【ゆとり創造事業の実施】

【ボランティア活動の推進】【ふれあい基金活動】

【各種団体の事業支援】 (略)

以上

フルバージョンは、所属の組合にお問い合わせ下さい。

9 26 MON 連合800万人にむけて 「連合山梨 組織拡大集会」開催

連合山梨は、本部が掲げる『連合組織拡大プラン2030』に基づき、組織拡大を最重点課題と位置付けており、「すべての活動を組織拡大に繋げて行く」との決意のもと様々な取り組みを進めています。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延が長期的に続いており、「企業訪問活動」といった従来の組織拡大活動が停滞している状況がありますが、「組織強化を通じた組合員の減少に歯止めをかける取り組み」も重要であると認識しています。

このような情勢を踏まえ、9月26日(月)にYCC県民文化ホールにおいて「2022連合山梨 組織拡大集会(研修会)」を開催しました。連合山梨組織拡大委員会とフェアワーク推進センターが連携し、今後の組織拡大の取り組みについて意識の統一を図り、更に前進する契機とすべく、構成産別・地協の役員や組織担当者など83名の参加をいただきました。

集会(研修会)は、窪田会長ならびに佐々木組織拡大委員長の挨拶で始まり、本部組織拡大大局の松永局長による講演にて「連合組織拡大プラン2030」の概要説明で理解を深め、組織化の成功事例を交えながら活動のヒントと有効的な取り組みについて学びました。

結びには、フェアワーク推進センターの田中副センター長より、連合山梨構成組織の心合わせで組織拡大に取り組んで行くとし「組織拡大ガンバロウ！」で決意を新たにしました。

これからもみなさんと連携し、組織拡大を推進していきますので、更なる仲間づくりの活動へのご協力と取り組みをお願いいたします。

組合づくり相談員 宮坂 兼夫



連合山梨会館(仮称)経過報告 No.10 半世紀にわたり、ありがとう!

半世紀にわたって、私たちの組合活動の礎となっておりました労農センターは、現在、地上部分はすべて取り壊され、地下の構造物撤去を行っております。

これまでの労農センターへの感謝とともに、新しい会館への期待に想いが膨らみます。



9 9~11 FRI SUN 平和行動in根室 北方領土問題について関心を持てる機会を



澄み渡る高い秋の空。海風の先には、近くて遠い北方領土の島々がはっきりと見えます。かつてそこには17,000人を超える日本人が豊かな水産資源を糧に暮らしていました。しかし、今は島の土を踏むことも、水産資源を自由に捕ることも許されていません。

連合山梨からは3人が、関東ブロック派遣団の一員として、2022平和行動in根室に参加しました。沖縄本土復帰50年、日中国交正常化50年の節目にあたり、本年2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵攻から半年、平和について考える機会が多く、真の平和を求める気運が高まる中、この平和行動に参加できたことを幸せに思います。同時に、連合山梨においても、産別単組においても、平和運動に誰よりも取り組んでいかねばならない責務があると感じています。

集会で元島民の鈴木咲子さんが、「強制退去までの間、日本人とロシア人が共生する中、お互いに唾み合うことはなかったことが思い出の中では救いになっている。元気なうちに孫たちを北方四島に連れていき、北方領土問題について孫たちが関心を持てる機会を与えたい」と語ったのが印象的でした。鈴木さんの願いを叶えるために、ともに頑張りましょう。

今回、3年ぶりに現地開催を実現していただいた連合と、連合関東ブロックの皆様へ感謝します。ありがとうございました。

連合山梨 副会長 福井 太一

平和行動in根室参加者 ○印=団長		
氏名	産別名	単組名
○福井 太一	日教組	山梨県教職員組合
名取 哲也	自治労	自治労山梨県本部
白倉 範人	連合山梨	N T T 労組

連合山梨関東ブロック事務局 田中 好久 連合山梨

(敬称略)

9 11~13 SUN TUE 連合山梨 平和行動in長崎

平和を世界に拡げ後世につないでいく

2022年9月12日、私たち連合山梨平和行動in長崎団4名は原爆落下中心地にある慰霊碑に花を手向け、静かに手を合わせました。

今から77年前の昭和20年8月9日午前11時2分、上空約500mで原子爆弾が炸裂し、約3,000度の高熱と秒速200mを超える爆風により、7万3千人を超える尊い命が奪われました。

ボランティアガイドの松尾様に、城山小学校、平和公園、原爆資料館、原爆死没者追悼記念館とご案内いただくなか、平和公園内にある「平和の泉」に刻まれたある少女の手記に目が留まりました。

のどが渴いてたまりませんでした

水にはあぶらのようなものが一面に浮いていました

どうしても水が欲しくてとうとうあぶらの浮いたまま飲みました

私たち戦争を知らない世代は、水や食料に困ることなく、戦争の無い生活が当たり前のように育ってきたことにあらためて感謝するとともに、私たち一人ひとは、この平和を世界に拡げ後世につないでいく努力をしなければならないことを痛感しました。



また、我が国は世界で唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさ、戦争の愚かさを訴え続ける責務があることも痛感しました。

「願う平和から叶える平和へ!」「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」

残暑厳しいなかご案内いただいたボランティアガイドの松尾様、同行いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

連合山梨 会長代行 坪井 茂

連合山梨 平和行動in長崎参加者 ○印=団長		
氏名	産別名	単組名
○坪井 茂	情報労連	N T T 労組
窪田 清	連合山梨	東電労組
大森 竜	連合山梨	パナソニックPA労組
深野 和代	連合山梨	スクラムユニオン

(敬称略)



皆様のご支援に感謝申し上げます

【市川三郷町議会議員選挙】 2022年9月25日(日)投開票



たか お 高尾

とおる 貴氏

投票総数 8,795票 投票率 68.12%
409票(当選) (14位)

